

平成28年度 決算の概要

決算規模(一般会計)

歳入は前年度比0.5%減の48,064,006千円、歳出は同0.1%減の47,051,459千円

歳入決算額 48,064,006千円

(前年度比 ▲234,416千円 0.5%減)

歳出決算額 47,051,459千円

(前年度比 ▲54,223千円 0.1%減)

形式収支・実質収支(一般会計)

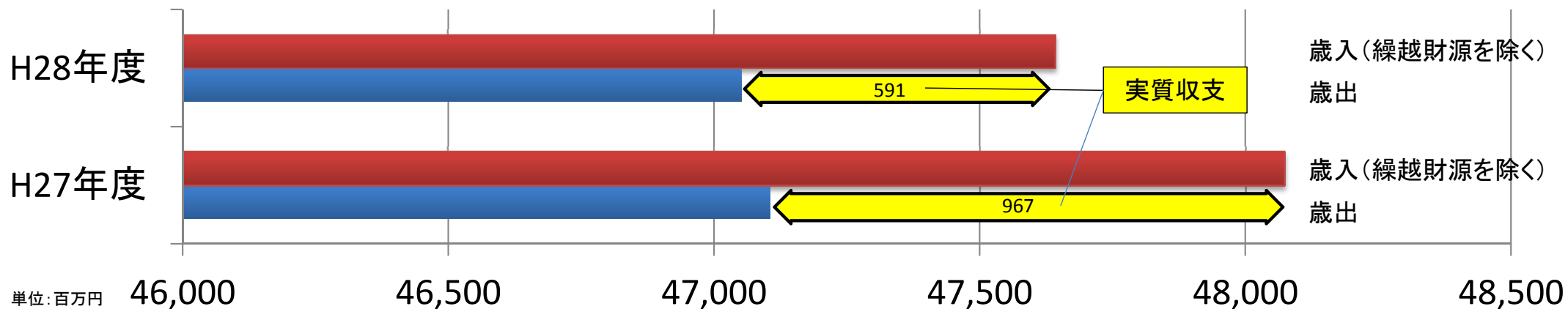
歳入から歳出を引いた形式収支は前年度比15.1%減の1,012,547千円、その形式収支から繰越事業のため翌年度に繰越すべき財源を差し引いた実質収支は同38.9%減の590,558千円

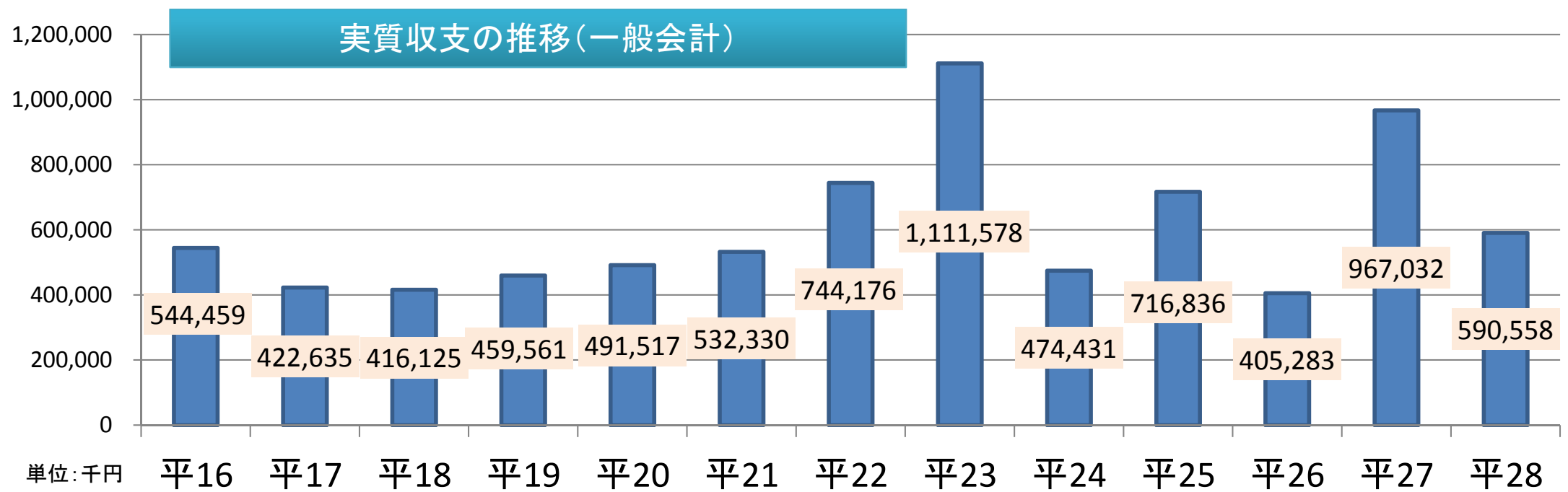
形式収支 1,012,547千円

(前年度比 ▲180,192千円 15.1%減)

実質収支 590,558千円

(前年度比 ▲376,474千円 38.9%減)





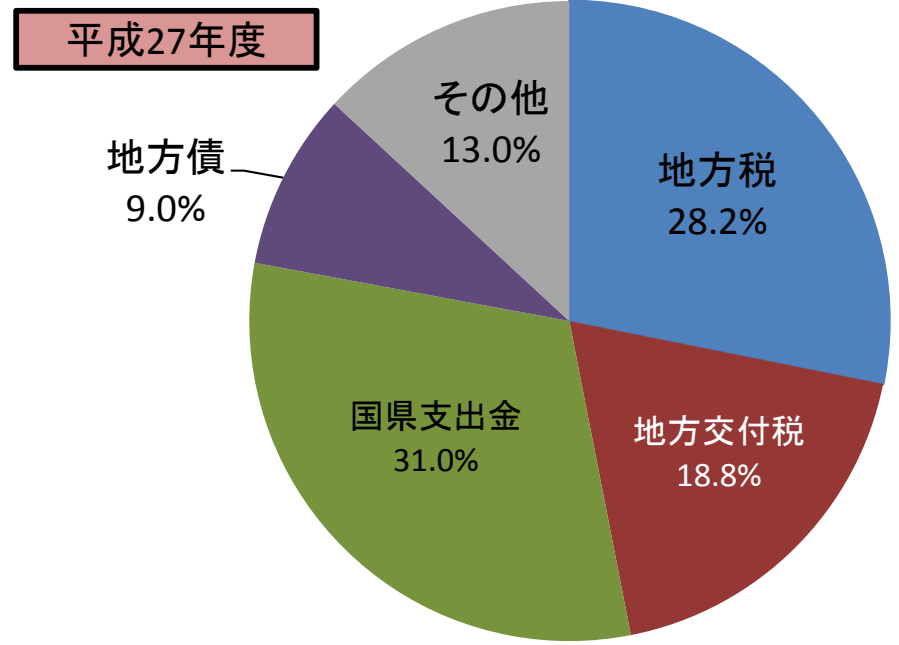
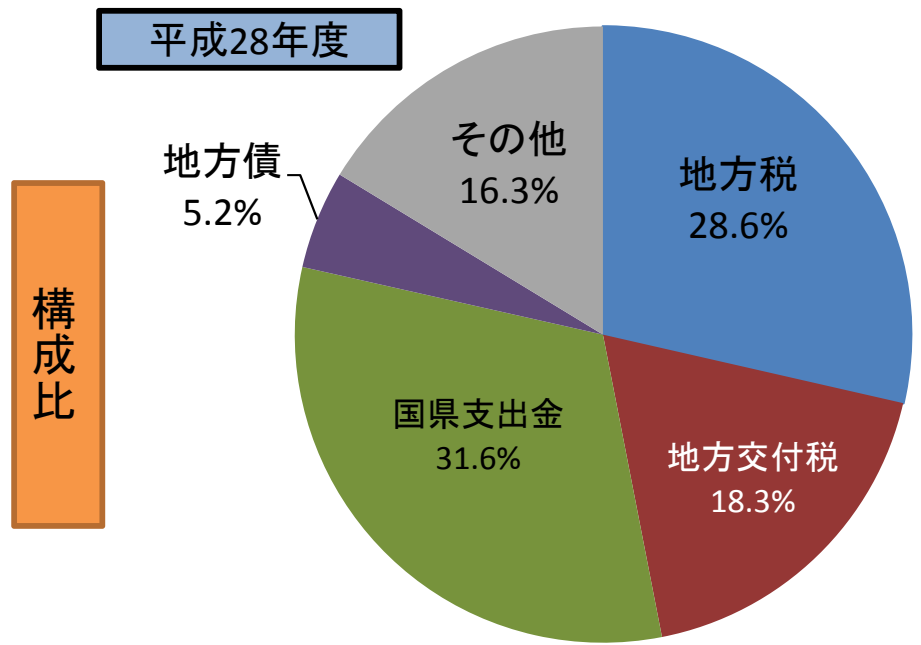
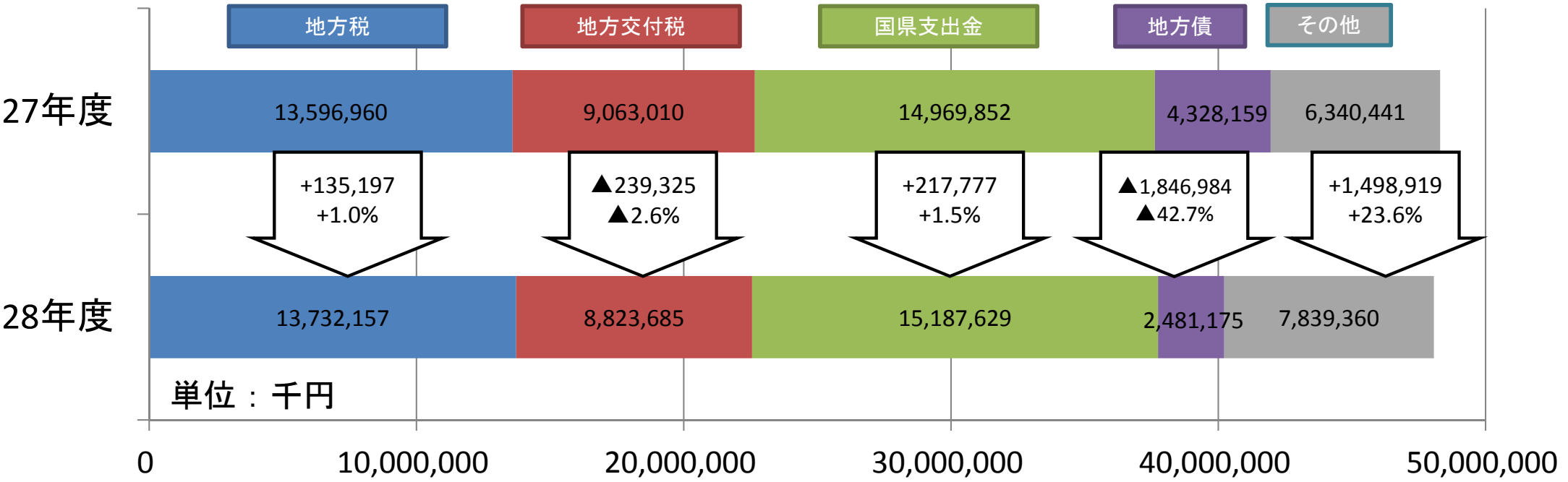
決算規模(特別会計)

特別会計の実質収支は前年度比248,151千円増(39.3%増)の880,142千円

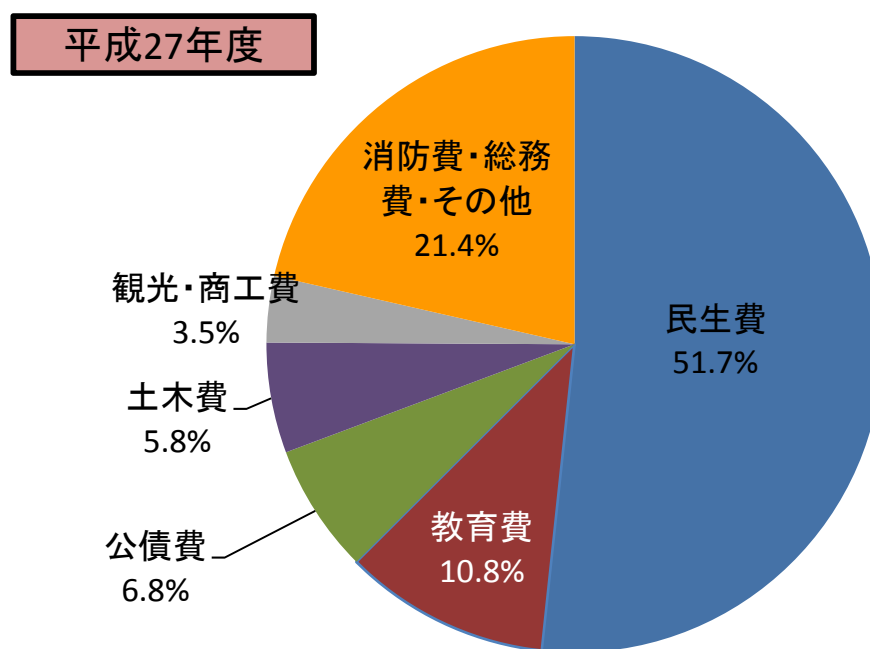
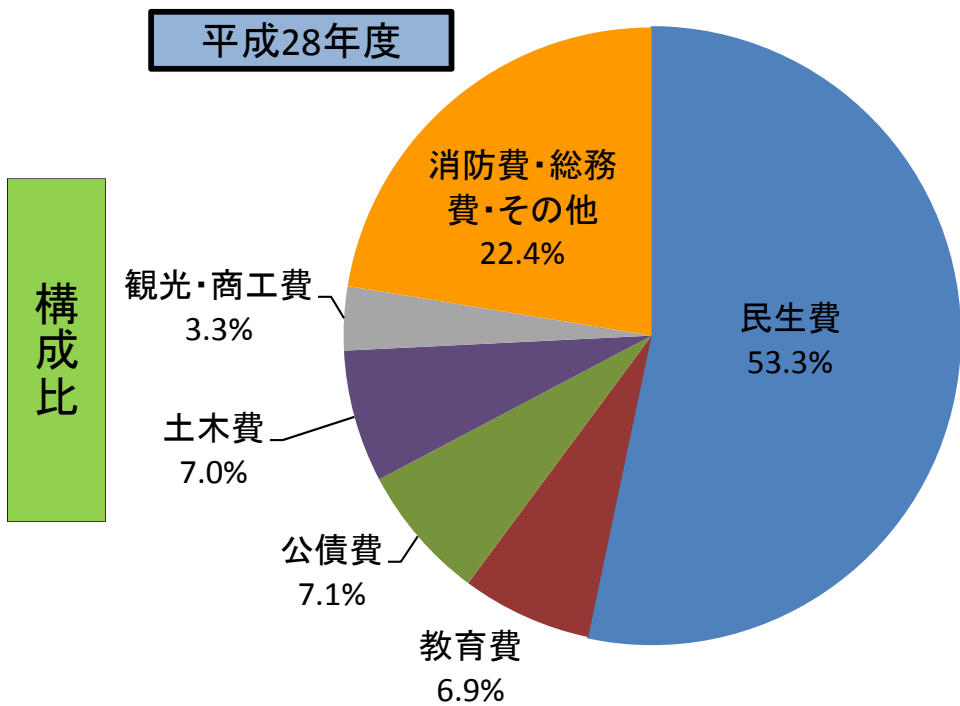
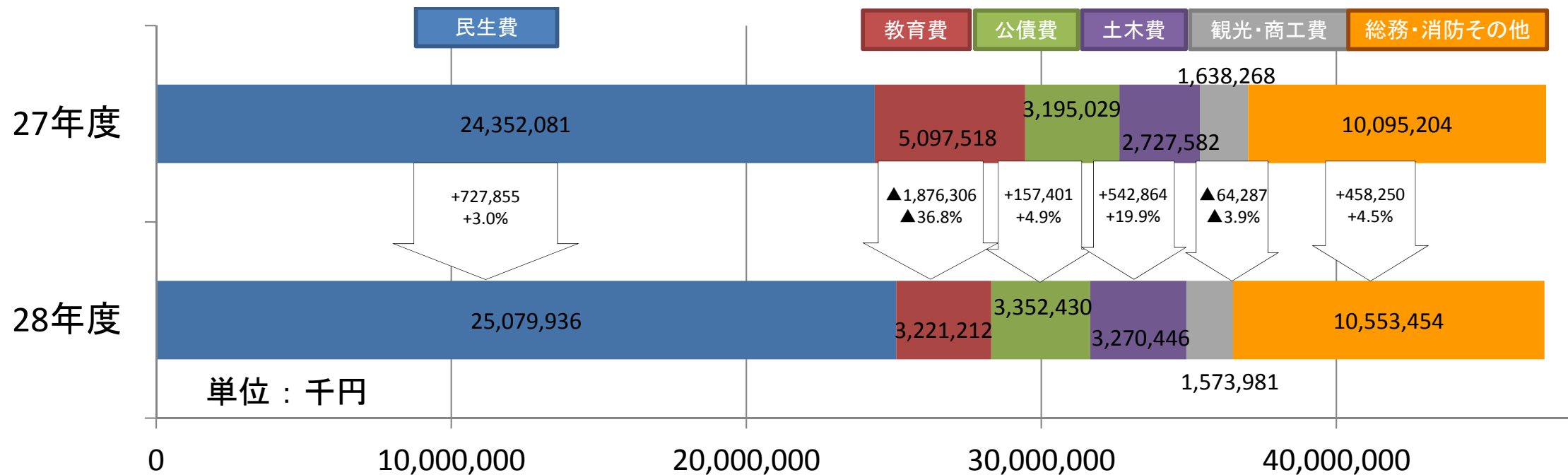
単位: 千円

	歳入	歳出	歳入歳出差引額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支	翌年度からの繰上充用額
国民健康保険事業	17,150,521	16,892,591	257,930	0	257,930	—
競輪事業	12,695,475	12,289,500	405,975	20,372	385,603	—
公共用地先行取得事業	0	0	0	0	0	—
公共下水道事業	2,074,043	2,027,136	46,907	1,000	45,907	—
地方卸売市場事業	44,013	44,013	0	0	0	—
介護保険事業	11,554,751	11,369,720	185,031	0	185,031	—
後期高齢者医療	1,552,543	1,546,872	5,671	0	5,671	—
特別会計 合計	45,071,346	44,169,832	901,514	21,372	880,142	0

歳入の状況(一般会計)



目的別歳出の状況(一般会計)



市民一人あたりの決算額(一般会計)

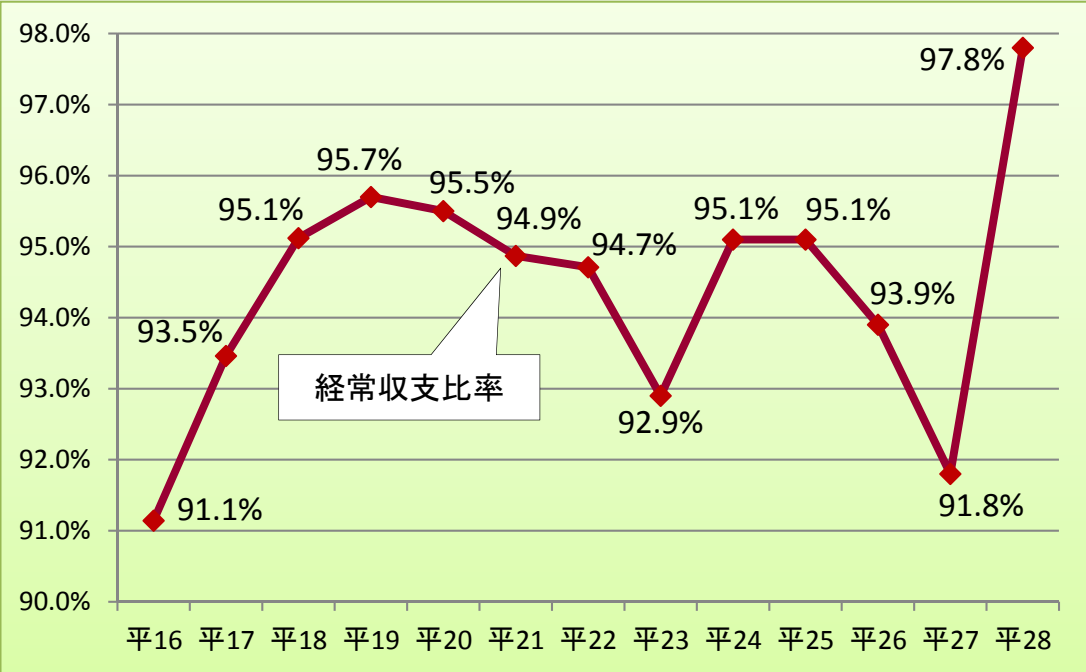
目的別	主な用途	平成28年度 (118,761人)		平成27年度 (119,945人)	
		決算額	市民一人あたり	決算額	市民一人あたり
民生費	社会保障、子育て支援、高齢者福祉、障がい者福祉	25,079,936千円	211,180円	24,352,081千円	203,027円
議会費・総務費	市議会・市役所の運営など	5,797,321千円	48,815円	5,760,536千円	48,026円
教育費	幼稚園・小・中・高等学校教育・社会教育・スポーツ振興など	3,221,212千円	27,124円	5,097,518千円	42,499円
公債費	市債(借金)の返済	3,352,430千円	28,228円	3,195,029千円	26,637円
土木費・災害復旧費	道路、街路、公園整備、海岸整備、災害復旧など	3,591,931千円	30,245円	2,757,822千円	22,993円
衛生費	健康増進、ごみ処理、環境保全など	2,793,501千円	23,522円	2,532,413千円	21,113円
商工費・観光費	商工・温泉・観光振興など	1,573,981千円	13,253円	1,638,268千円	13,658円
消防費	消防・防災対策など	1,249,206千円	10,519円	1,318,045千円	10,989円
労働費・農林水産業費	消費者・勤労者対策、農林水産業振興など	391,941千円	3,300円	453,970千円	3,785円
合 計		47,051,459千円	396,186円	47,105,682千円	392,727円

普通会計決算の主な財政指標

経常収支比率 97.8%(H27 91.8%)

経常収支比率は、市税や普通地方交付税などの経常的な収入が、人件費や扶助費などの経常的な経費に、どの程度充てられているかを示す指標です。

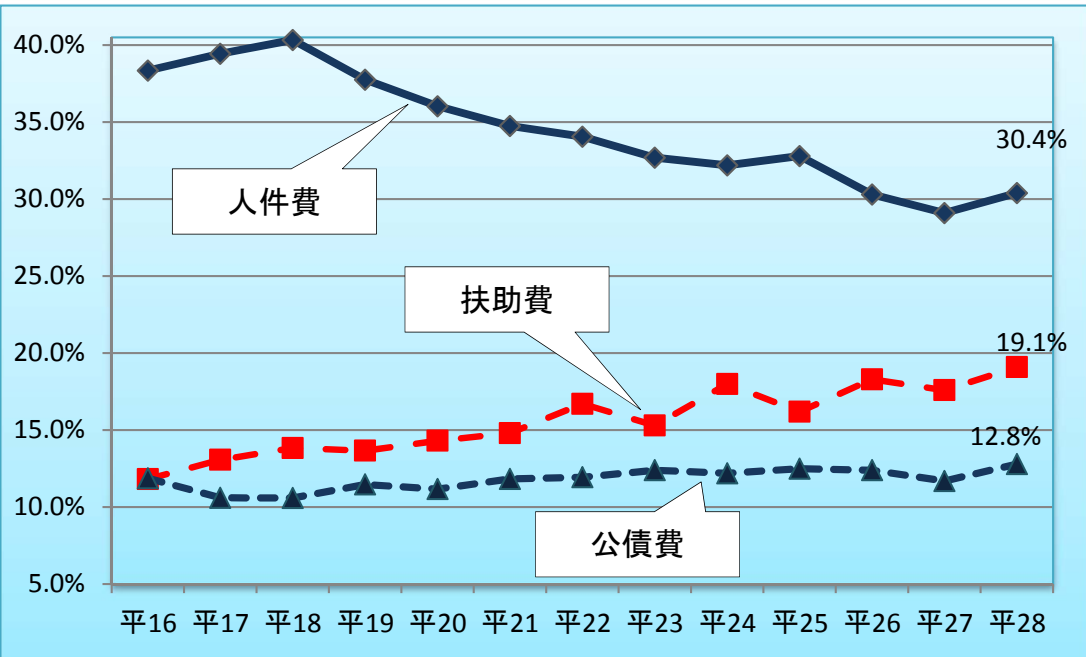
平成28年度の比率は、地方消費税交付金や普通地方交付税などの経常一般財源が大幅に減少したこと、公債費や広域圏事務組合負担金などの事業費が増加したことに伴い、前年度から6.0ポイント上昇し、97.8%となりました。



義務的経費の経常収支比率

義務的経費である人件費の経常収支比率は30.4%、扶助費は19.1%、公債費は12.8%で、対前年度比で全て上昇しました。

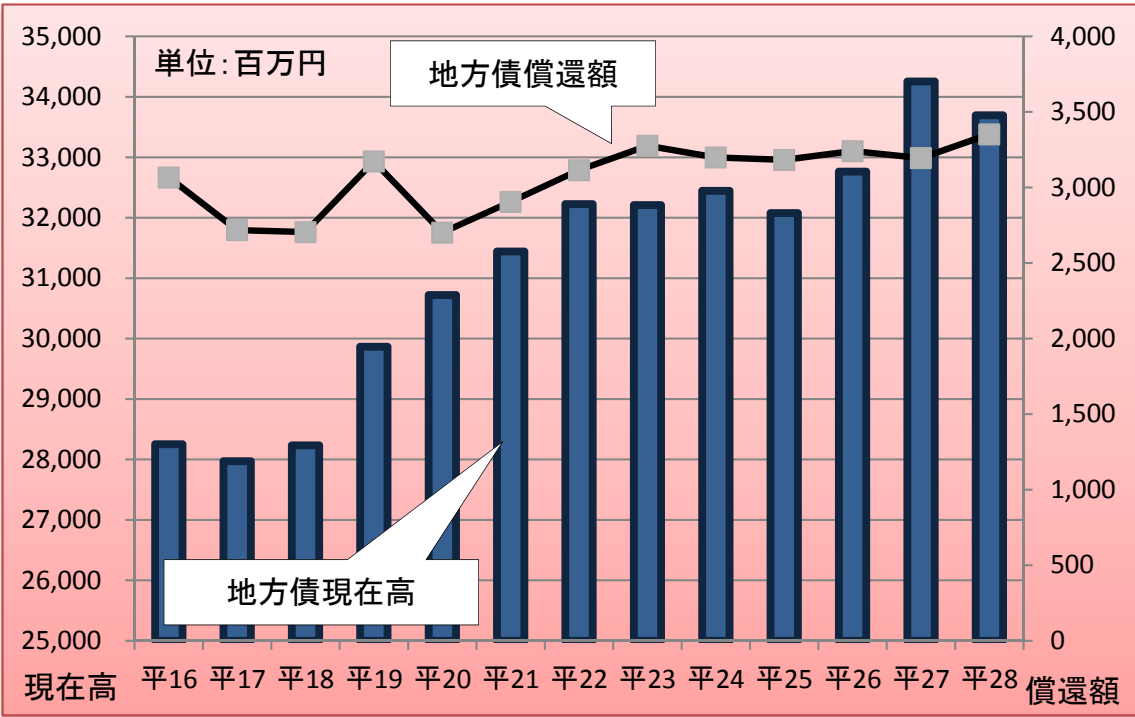
人件費では退職手当が増加したこと、公債費では元利償還金が増加したこと、扶助費では保育所の定員を増やしたことや生活保護費に充当する一般財源が増加したことが要因となっています。



地方債の状況

大型事業（中央公民館リニューアル・山の手小学校建設）の終了や臨時財政対策債の減により、借入金償還元金を下回ったため、地方債残高は減少（▲559,144千円）しました。

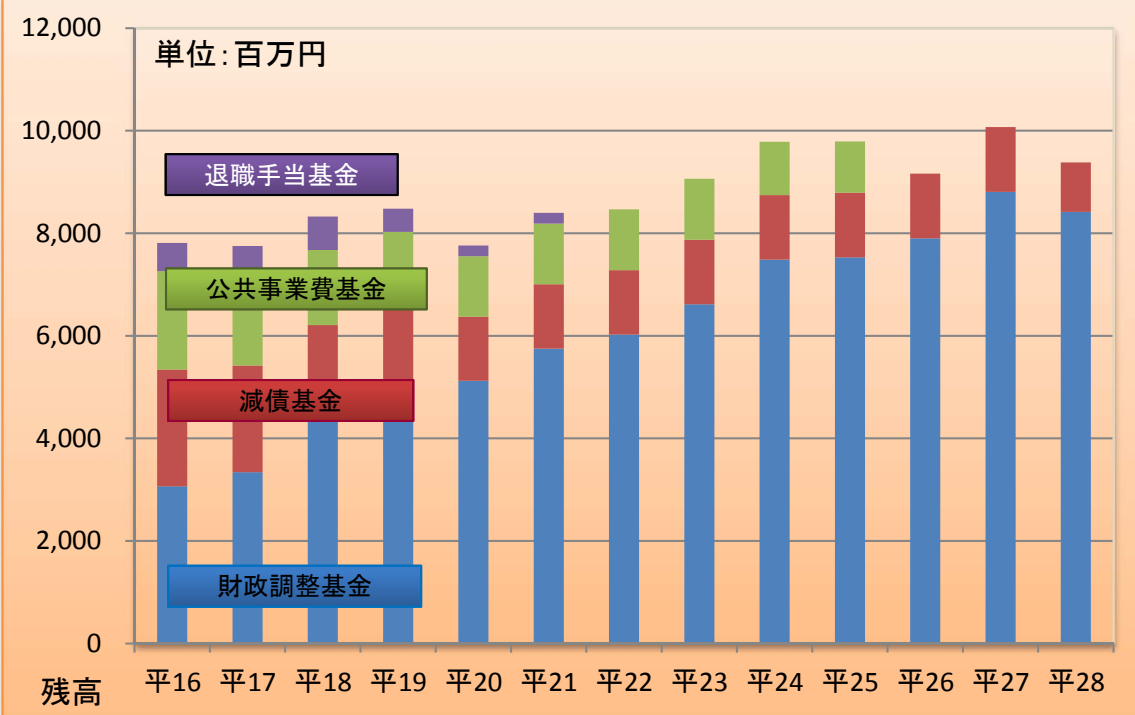
地方債残高（33,696,325千円）のうち、後年度に償還が地方交付税で措置される臨時財政対策債の残高が18,726,917千円と全体の55.6%を占めています。



主要基金の状況

主要基金（財政調整基金・減債基金）は、災害等の突発的な支出や税収の落ち込み等に備え、年度間の財源の調整を図り、計画的な財政運営を行うため積み立てています。

平成28年度末の主要基金の残高は、震災復興財源捻出などのため取り崩しを行いましたので、前年度末から688,768千円減少し、9,381,427千円となりました。



べっぷ復興建設券発行事業 決算額392,595千円

熊本地震により損壊した家屋の復旧支援と需要喚起のため、25%のプレミアムを付与した建設券を発行し、市民生活の速やかな回復と経済活性化を図りました。



べっぷで飲んで食うぽん券発行事業 決算額109,196千円

地震による風評被害等により売上げが激減した飲食店を支援するため、20%のプレミアムを付与したクーポン券を発行し、消費喚起を促しました。



災害被災者住宅再建支援金	決算額 70,275千円
災害見舞金	決算額 56,280千円

熊本地震により建物が全壊又は半壊となった方々、29年2月の大火災の被害に遭われた方々等に対し、災害見舞金や災害被災者住宅再建支援金を支給しました。

別府誘客緊急事業(元気な別府発信事業) 決算額 24,000千円

地震による風評被害を払拭するため、テレビCMの制作、テレビ・WEBによる映像配信を実施するとともに、地域の伝統ある祭りに併せて賑わいを創出する事業を実施しました。



官民共同誘客緊急事業(Go! Beppu事業) 決算額 10,200千円

別府はいつもと変わらず元気であることをアピールするため、ゴールデンウィーク期間中の4日間、新聞広告(1面)を掲載した他、博多ジャックプロモーションと銘打って、新聞広告掲載(4日間)、JR博多駅コンコースのデジタルサイネージジャック、博多・天神地区バス停の広告掲載などを展開しました。



農林水産業施設災害復旧事業 決算額 98,531千円

地震により、田畑や水路などは石積・石垣崩落、地面亀裂、土砂による埋没など数多くの被害を受けたため緊急に災害復旧工事を実施しました。

また、亀川漁港の舗装亀裂やフェンス破損についても復旧工事を実施しました。



公共土木施設災害復旧事業 決算額 135,573千円

崖崩れ、土砂崩れ、落石、石積・石垣崩落、陥没などによる通行不能となった道路の復旧工事を実施したほか、餅ヶ浜海岸の栈橋、馬場公園などの公園施設、市営住宅の災害復旧工事を実施しました。



文教施設災害復旧事業 決算額 48,403千円

市内各幼・小・中学校で発生した壁面の亀裂・ひび割れや、その他建具損傷に対して復旧工事を実施しました。その他に北部地区公民館の石積擁壁をはじめとする社会教育施設や体育施設などの災害復旧工事も実施しました。



平成28年度に実施した主な事業

汚泥再生処理センター建設事業 決算額 99,588千円

旧し尿処理場春木苑の更新工事に着手しました。
平成30年度末完成予定です。



亀陽泉建設事業 決算額 118,728千円

亀陽泉の建替工事が完了し、7月26日にリニューアルオープンしました。
(初日から3日間無料開放を実施)



平成28年度に実施した主な事業

地方道路整備(交付金事業)事業 決算額 234,897千円

車両の走行性の向上（道路整備）、歩行者の安全性確保（歩道整備・段差解消など）の推進、街路灯LED化などを実施しました。

(写真は志高野尾原太郎丸線)



消防車両購入事業 決算額 120,960千円

平成11年3月から導入していた救助工作車を更新しました。



中学校統合事業 決算額 37,762千円

浜脇中学校及び山の手中学校の統合に向けて、基本設計及び実施設計に着手しました。



(※写真は設計委託業者が決定した際のパースであり、完成予想図ではありません)

中学校空調整備事業 決算額 19,001千円

生徒の学習効率向上と健康対策のため、市内7中学校に空調設備を整備しました。



別府学創生事業 決算額 23,489千円

別府市の歴史や文化を学習する機会を創設するため、小中学生向けにテキスト及び映像教材を制作し、幼稚園児向けに紙芝居と映像教材を制作しました。

北部中学校、上人小学校及び亀川小学校で試行実施しました。

(写真は小中学生向けテキスト及び映像教材)



実相寺多目的グラウンド整備事業 決算額 159,942千円

2019ラグビーワールドカップ公認キャンプ地、あるいは2020年オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地として誘致できるように実相寺多目的グラウンドの施設整備を行いました。

(平成29年7月28日完成)



その他の主な支出

生活保護費 決算額 7,092,013千円

自立支援給付費 決算額 3,356,703千円

保育所（私立）運営費負担金 決算額 2,552,061千円

児童手当 決算額 1,630,945千円

介護保険事業特別会計繰出金 決算額 1,616,144千円

後期高齢者医療療養給付費負担金 決算額 1,551,067千円

児童扶養手当 決算額 697,288千円

国民健康保険事業特別会計繰出金 決算額 625,632千円

年金生活者等支援臨時福祉給付金 決算額 538,200千円

臨時福祉給付金 決算額 205,905千円

広域圏事務組合負担金（藤ヶ谷） 決算額 471,930千円

山田関の江線外道路整備事業 決算額 180,595千円

観光客誘客・受入事業 決算額 170,136千円

橋りょう長寿命化事業 決算額 151,892千円

亀陽泉周辺整備事業 決算額 66,107千円

民間児童福祉施設助成事業 決算額 56,817千円

4『B』i地域産業イノベーション推進事業 決算額 31,344千円

図書館・美術館一体的整備事業 決算額 20,963千円

ものづくり産業地域連携推進事業 決算額 20,000千円

ワンストップサービス事業 決算額 17,201千円

充当明細表

平成28年度 都市計画税充当明細表

[単位：千円]

充 当 先		金 額
1	土 木 費	556,389
	街路事業	88,219
	都市公園整備事業	140,752
	公共下水道事業特別会計繰出金	243,634
	その他都市計画事業	83,784
2	公 債 費	486,867
	長期債償還元金	442,351
	長期債償還利子	44,516
	合 計	1,043,256

平成28年度 競輪事業収入充当明細表

[単位：千円]

充 当 先		金 額
1	民 生 費	19,000
	在宅支援事業	19,000
2	衛 生 費	117,000
	予防費	117,000
3	教 育 費	164,000
	文化振興費	45,000
	体育施設費	119,000
	合 計	300,000

平成28年度 入湯税充当明細表

[単位：千円]

充 当 先		金 額
1	衛 生 費	3,051
	塵芥処理費	1,198
	し尿処理費	1,853
2	観 光 費	261,097
	観光情報推進事業	30,579
	観光客誘致事業	105,239
	観光施設費	27,134
	温泉施設費	98,145
3	消 防 費	35,383
	消防施設費	35,383
	合 計	299,531

平成28年度 地方消費税交付金（社会保障財源分）充当明細表

[単位：千円]

充 当 先		金 額
1	民 生 費	583,175
	自立支援給付事業	177,000
	共生社会形成事業	175
	介護保険事業特別会計繰出金	66,000
	後期高齢者医療事業	70,000
	保育所入所事業	270,000
2	衛 生 費	307,125
	予防接種事業	157,400
	子ども医療助成事業	50,000
	母子健康診査事業	46,725
	健康診査事業	53,000
	合 計	890,300